

# ◇◇◇ 環境問題対策総合研修会 ◇◇◇

## 開催のお知らせ

日 時 : 平成 21 年 1 月 10 日 (土) ~11 日 (日)

会 場 : パシフィコ横浜

対 象 : 国 民 (日臨技会員の方は会員証をご持参ください)

受講料 : 無 料<資料代として実費>

テーマ : 「臨床検査を取り巻く環境変化に対応するために」

骨 子 : 環境対策推進本部が、平成 16 年 6 月 29 日に決定し、平成 20 年 11 月 5 日に一部改正された「厚生労働省における環境配慮の方針」の骨子に基づく「環境立国・日本」を目指す取り組みとし、更に、臨床検査を取り巻く環境変化に順応性をもって対応し、来るべき世代が豊かに生き抜くため、臨床検査を担う者の責任として環境問題を総合的に研修する。

### 1. 「環境変化がもたらす健康被害」

現在、温暖化現象に伴う地球規模での環境の変化は、多方面にわたり影響をもたらしている。大気、水環境、化学物質などにはじまり、食の世界まで脅かされている。これら多くの環境物質に暴露されているヒトの健康を守るため、その健康被害を考えるとともに臨床検査が及ぼす影響も含め総合的に研修する。

### 2. 「環境変化がもたらす感染症」

地球温暖化がもたらす環境変化は、感染症の世界にも大きな影響をもたらしている。外来生物や渡り鳥により持ち込まれる感染症は、わが国においては過去に撲滅されたとされる疾病の再興をも促しているともいえる。これら、環境変化がもたらす新興再興感染症を研修する。

### 3. 「地球をとりまく環境変化にどう対応するか=豊かに生き抜くために=」

人間に限らず、生物の病気は遺伝性や伝染病などを除くと、その多くはストレス性障害によるものとされている。それを生物学・生理人類学や環境工学を基調とした総合学として、また、臨床検査を担う医療人として“医療を守る安全の確保”の観点からも環境の変化にどう対応し、その責任をどのようにまっとうするかを総合的に研修する。

### 4. 医療行政の立場から

厚生労働行政における環境配慮の方針、新型インフルエンザを主とする感染症対策、化学物質に暴露される労働者のための労働衛生行政およびその法的措置などを研修する。

### 5. 臨床検査の現場から

- ◇ 医療の現場、臨床検査の現場ではホルマリンをはじめとする有害(化学)物質にどのように対応しているか。有害(化学)物質の拡散を如何に最小に留めるか...その実践を現場からの提言・討論を含み研修する。
- ◇ 感染症管理に係わる法的措置に伴い、各医療機関特に検査部門における管理を含む実践を研修する。

### 6. 輸血療法の今後の展望

今後更に重要性を増す輸血療法の今後の展望を“医療の安全の確保”の観点から、また、診療報酬体系における臨床検査技師の対応を、輸血検査の最新情報を含み研修する。

## 環境問題対策総合研修会 日程 (予定)

\* 講師は厚生労働省, 国立環境研究所, 国立感染症研究所, 大学等に折衝中です  
詳細は、日臨技ホームページに掲載します

### 《 第1日目 》

平成21年1月10日(土) 開場:09:30 挨拶:09:45

<第1講> 10:00 - 11:20

「環境変化がもたらす健康被害」<基調講演>

<第2講> 11:30 - 12:20

「厚生労働行政における環境配慮の方針について」

昼 休 12:20 - 13:30

<第3講> 13:30 - 14:20

「労働衛生行政の取り組みとその法的措置」

<第4講> 14:30 - 15:20

「臨床検査におけるバイオハザードへの取り組み=リサイクル問題を含み=」

<第5講> 15:30 - 17:00

「地球をとりまく環境変化にどう対応するか=豊かに生き抜くために=」<特別講演>

### 《 第2日目 》

平成21年1月11日(日) 開場:09:30

<第6講> 10:00 - 11:20

「環境変化がもたらす感染症」<基調講演>

<第7講> 11:30 - 12:20

「厚生労働行政における感染症対策について=新型インフルエンザを含み=」

昼 休 12:20 - 13:30

<第8講> 13:30 - 14:20

「医療機関における感染管理の実践=バイオテロ・新型インフルエンザを含み=」

<第9講> 14:30 - 15:20

「輸血療法および輸血検査の内外最新情報」

<第10講> 15:30 - 17:00

「輸血療法の今後の展望=診療報酬・法的措置を含み=」